

# 2020年度 活 動 報 告

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

## 1 事業活動概要

コロナ禍に覆われ、事業の実施に慎重を期する1年となったが、子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組んだ。

学校現場においては、新型コロナウイルスの影響により、長期休校や学校行事の中止、オンラインでの授業実施など、子どもたちをめぐる環境は大きく変わった。2019年度の神奈川県内の公立小中学校・高校・特別支援学校のいじめ認知件数は2万8245件(前年度比3139件増)で過去最多を更新した中、コロナ感染への社会不安は、偏見や差別、いじめへと向かい、こうした事象が助長されるのではないかとの危惧が広がった。そして、2020年に自ら命を絶った児童生徒は500人近くに上り、19年に比べて4割以上増え、コロナ禍での孤立感が深刻な影響を与えていることが窺えた。

こうした状況の中、神奈川子ども未来ファンドは、一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択され、通常の助成事業の他、6団体に総額1,105万円の助成を決定した。

また、2年目となるかながわボランティア活動推進基金21による神奈川県との協働事業「子ども支援活動地域サポート推進事業」では、活動団体と企業・団体等のマッチングのサポートに積極的に取り組みつつ、ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」を完成させるなど、計画に沿った取組みを進めた。

更には、コロナ禍だからこそ「共にある」「見守っている」とのエールを子どもたちに送りたいと、ピンクシャツデーアクションに取り組んだ。

2020年度はコロナ禍により中止した事業もあったが、様々工夫しながら以下の活動を行った。

## 2 事業内容

### (1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

#### ア NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

##### (ア) ポータルサイトの構築

##### (基金21 協働事業負担金事業)

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の完成と運用  
子ども支援活動団体を支える企業等のサポーター向け、子ども支援活動団体向け、子育て当事者等向けのページで構成し、双方向の情報交換ができるポータルサイトを構築し、運用の試行を行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 2,000,000円

##### (イ) コーディネート窓口を運営

##### (基金21 協働事業負担金事業)

- ・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の運用」  
「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターをつなぐコーディネートを推進した。  
相談件数：19件 成立件数：10件
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局及び県内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 500,000円

(ウ) ワールドカフェ（子ども支援交流会）の開催  
（基金 21 協働事業負担金事業）

- ・内 容 「フジサワアイデアソン～子どもを取り巻く環境を考える～」を開催  
（一社）藤沢市民活動推進機構の協力を得て、貧困等への対応を念頭に、新型コロナ感染拡大防止に配慮し、地域の NPO 等と企業等とのオンラインイベントを実施した。
- ・日 時 3月18日 14:00～16:00
- ・場 所 オンライン
- ・参加人数 39名
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 500,000円

イ 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内 容 【会員の募集】

	2020年度実績	前年度実績
正会員	61名※ (39口)	84名 (47口)
準会員	24名 (24口)	22名 (24口)
子ども応援会員	23名 (23口)	13名 (18口)
法人会員	13社 (17口)	11社 (13口)

※定款第9条第2項の適用による減を含む

【寄付の募集】

	2020年度実績	前年度実績
一般寄付金※	6,454,204円	7,965,180円
運営基盤を支える寄付金	543,811円	357,330円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 15人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 199,646円

(イ) ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等への参加

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動  
ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等のイベント会場で子どもの居場所事業等を実施している活動団体紹介や募金活動を行った。
- ・日 時 11月8日 ホッチポッチ・ミュージックフェスティバル  
3月27日 ヨコハマ・アコースティックフェスティバル
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 264,562円

(ウ) 商店街でのチャリティバザーの実施（コロナ禍により中止）

- ・内 容 商店街の寄贈品によるチャリティバザー  
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力により、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティバザーを実施。
- ・支 出 額 0円

(エ) 各種団体主催イベントでの募金活動（コロナ禍により中止）

- ・内 容 連合神奈川主催のメーデー等に出店  
飲料のチャリティー販売と募金活動等。
- ・支 出 額 0円

(オ) 福祉団体主催イベントでの募金活動（コロナ禍により中止）

- ・内 容 福祉作業所主催のバザーに出店  
飲料のチャリティー販売と募金活動等。
- ・支 出 額 0円

(2) 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

ア 助成事業

(ア) 2020年度助成事業

- ・内 容 2020年度助成の実施  
「一般助成」に加え「課題助成①いじめ・児童虐待防止」「課題助成②貧困」の3分野、総額150万円1団体上限25万円で2019年度に募集し、助成選考委員会の審議を経て、8団体へ総額150万円を助成した。  
なお、緊急助成を目的とした寄付を受けたことから、寄付者の意向も踏まえ、子どもたちへの食の提供に取り組む団体へ配分することとし、助成決定団体の内該当する活動を行っている4団体にそれぞれ6万円計24万円を追加助成した。

2020年度助成選考委員会

助成選考委員会 2020年4月2日

(追加助成については7月に書面により調整)

委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長  
 委員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長  
 委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士  
 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉理事  
 委員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員会労働者委員

- ・実施時期 5月（追加助成は7月）
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 2,000,000円

【2020年度助成対象団体】

団体名	区分	<活動領域> 事業名	都市名	助成金額	追加助成
みんなの場「てとてと」	一般	<居場所づくり支援> みんなの場「てとてと」事業	相模原	100,000円	60,000円
NPO 法人 ピアサポート F.A. cafe	一般	<食物アレルギーへの支援> 親子でともに学ぶ、食物アレルギー ワークショップ事業	藤 沢	250,000円	
NPO 法人 RCB 大口夢	一般	<こども食堂、居場所づくり支援> 「ひとり親の子ども・母親の心と体 を元気いっぱい！地域食堂×未 病食育教室」事業	横 浜	100,000円	60,000円
Art Lab Ova (アートラボ・オーバ)	一般	<学習支援事業> 横浜パラダイス会館における備品 の充実と学習支援事業新設	横 浜	250,000円	60,000円
おっち一塾	一般	<居場所と学習支援事業> 地域で支える困っている子どもへ の支援事業 ～困っている子どもたちやその保護者を地域で 孤立させない～	横 浜	200,000円	
常設子育てサロン ちっちゃなて	一般	<子育てサロン事業> 子育てサロンの運営	秦 野	200,000円	
NPO 法人 湘南まぜこぜ計画	課題 ①	<居場所づくり支援> 不登校児童・生徒がいつでも来られ る常設の寺子屋ハウスへの移転と 居場所マップ事業	藤 沢	200,000円	60,000円
NPO 法人 フードバンク横浜	課題 ②	<学習支援事業> 経済的困難を抱える子供の学び支 援	横 浜	200,000円	
		合 計		1,500,000円	240,000円

(イ) 2021 年度助成事業

- ・内 容 2021年度助成の実施  
「一般助成」に加え「課題助成」総額120万円1団体上限30万円で、

助成対象団体を募集した。

2021年度助成事業

募集総額：1,200,000円（前回は△300,000円）  
（1団体につき上限30万円）

応募総額：3,599,000円

応募団体：13団体（前回は△5団体）

2021年度助成選考委員

委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長

委員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士

委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉理事

委員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員

- ・募集期間 2020年11月1日（日）～2021年1月25日（月）
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 545,503円

イ 助成贈呈式及び助成報告会（コロナ禍により中止）

(ア) 2020年度助成贈呈式・2019年度助成報告会の実施

- ・内容 2020年度助成対象団体への助成贈呈と2020年度助成対象団体の活動報告及び、寄付をした企業・団体・個人の方との交流。
- ・支出額 0円

ウ 子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成

(ア) 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択されたことを受け、標記助成に係る県内実行団体の公募選考を経て決定した6団体と総額1,105万円の資金提供契約を締結し、初回分（2020年度分）として総額6,153,231円を助成した。

- ・募集期間 2020年8月17日（月）～9月17日（木）
- ・助成選考委員会 2020年10月4日（日）
- ・委員構成 アの助成選考委員会と同じ
- ・従事者人員 12人（事務局3人 理事4人 選考委員5人）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者の居場所事業などの利用者、子育てをしている親や家族、子ども支援に取り組む者など
- ・助成金額 初回（2020年度）6,153,231円（決定総額11,050,000円）
- ・助成期間 初回助成分 2020年11月～2021年4月（全体期間～2021年9月）
- ・支出額 7,161,711円

【子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成に係る助成団体】

団体名	事業名	都市名	2020年度助成金額 （決定総額）
特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	農園を活用した子ども・若者支援事業	小田原	1,355,500円 (2,199,500円)
特定非営利活動法人 フリースクール鈴蘭学園	不登校・ひきこもり支援事業 ～子どもたちへの居場所の提供と学習支援～	相模原	829,500円 (1,808,900円)

NPO 法人 神奈川子ども支援センターつなぐ	「トラウマのメガネ」プロジェクト ～適切なケアにつなげるための トラウマの視点～	横 浜	795,960 円 ( 869,000 円)
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	「地域みんなが元気になる活動事例集」 ～コロナに負けない！育てよう！ 子ども・若者～	横 浜	1,130,336 円 (2,643,673 円)
特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク	「子ども・若者のキャリアスクール」 ～駄菓子屋カフェで職業体験～	横 浜	1,260,250 円 (2,007,800 円)
一般財団法人エマージェンシー・メディカル・レスポonder財団	感染防護と、新型コロナ時代の応急手当教育 ～子どもが集う場所に安心と安全を～	横 浜	781,685 円 (1,521,127 円)

(3) 前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

ア 助成対象団体等への技術的支援の実施

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等の助言、支援及び専門家の紹介等を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支 出 額 100,000 円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

ア 子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内 容 実態を把握するため助成団体等へヒアリングを行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支 出 額 51,043 円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

ア 「ピンクシャツデー2021神奈川」の取組み

(基金 21 協働事業負担金事業（一部/企画及び普及）)

- ・内 容 2021 年 2 月のピンクシャツデー月間は緊急事態宣言期間となり、感染拡大防止に配慮しながらの実施となったが、公式サイトを開設した他、県内の小中高校等でのポスター掲示や商業施設等でのサイネージ等の掲示など、多くの協力を得た。また、ライトアップを横浜 5 カ所、鎌倉 1 カ所、藤沢 2 カ所で行った。横浜以外の地域にはじめて広がった。2 月 24 日はパネル展示を実施。商業施設のプレスリリース等により Yahoo! ニュース等 32 媒体で紹介された。また、ピンクシャツデー公式

- ・日 時 サイトにおいて協賛団体等の紹介も行った。  
2021年2月（ピンクシャツデー月間）  
キャンペーンイベント 2月24日
- ・場 所 横浜市内 他
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 4,276,482円

イ 子どもみらいセミナーの実施（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 子ども未来セミナー2020の実施（3回）  
「ウィズコロナと子どもの世界」をシリーズタイトルとし、新型コロナ感染拡大防止に配慮してオンライン無料配信により実施した。  
ナビゲーター：西野博之氏（神奈川子ども未来ファンド常任理事）
- 第1回「いじめ・子どもの命を守ること」  
日 時：2020年10月25日（日）14:00～16:00  
配信会場：横浜ワールドポーターズ 会議室  
講 師：渡邊信二氏（学級経営コンサルタント）  
ゲスト：篠原宏明氏・篠原真紀氏  
参加申込者数 201名 アンケート回収 72通  
You tube 通算視聴回数 414回
- 第2回「虐待・ステイホームの功罪」  
日 時：2020年12月6日（日）14:00～16:00  
配信会場：公益社団法人 横浜貿易協会  
講 師：杉山春氏（ルポライター）  
参加申込者数 191名 アンケート回収 29通  
You tube 通算視聴回数 278回
- 第3回「加速する貧困」  
日 時：2020年12月20日（日）14:00～16:00  
配信会場：横浜ワールドポーターズ 会議室  
講 師：赤石千衣子氏  
(認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長)  
参加申込者数 193名 アンケート回収 24通  
You tube 通算視聴回数 176回
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 2,000,000円

ウ 子どものみらい応援団セミナー実施（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 子どものみらい応援団セミナーの実施（2回）  
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等へ出向き、子どもの現状を伝えるセミナーを実施した。
- 第1回 神奈川県生産性本部理事会  
日 時：11月24日（火）  
会 場：崎陽軒 ヨコハマジャスト1号館  
講 師：坂井雅幸氏（神奈川子ども未来ファンド理事長）  
参加数：20名
- 第2回（一社）神奈川経済同友会例会

日 時：12月8日（火）  
会 場：ロイヤルパークホテル 宴会棟  
講 師：坂井雅幸氏（神奈川子ども未来ファンド理事長）  
参加数：41名

- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 200,000円

エ「バリアフリーフェスタかながわ」への参加（コロナ禍により中止）

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出店し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開。
- ・支 出 額 0円

オ パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 600,000円

カ インターネットを活用した普及啓発

- ・内 容 Facebook等を活用して普及啓発事業を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 100,000円

キ 広報誌の発行による普及啓発

- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行った。
- ・日 時 7月及び2月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 180,000円

ク その他、メディア等を活用した広報宣伝

- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアにプレスリリース等積極的に働きかけた。
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 160,000円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

ア 会議に関する事項

通常総会	5月開催
臨時総会	2021年1月開催
理事会	年10回開催
運営委員会	年10回開催

イ 監査に関する事項

本監査	年1回
-----	-----

ウ 事務局体制

事務局スタッフ	常勤職員	1名
	非常勤職員	2名
運営委員による事務局応援		
	有償ボランティアとして	4名(週1回程度)
	その他ボランティアとして	5名(随時)